

令和8年度(2026年度)案

大淀中学校 学校経営方針

はじめに

- 1 校是
- 2 学校教育目標
- 3 大淀中学校として育みたい資質・能力
- 4 目指す姿(学校の姿・教職員の姿・生徒の姿)
- 5 具体的な実践

令和8年度の重点課題(具体的数値目標など)

- ① 探究を軸とした授業改善(表現力・質問力・情報活用能力)
- ② デジタル活用(タブレット持ち帰り・課題提出など)
- ③ 学力向上(総合指数 100以上)
- ④ 誰一人取り残さない(チーム担任制・世界に一つだけの花)

目指す学校のカラー

- ① 大淀の先生はみんな面倒見の良い、熱い先生ばかり
- ② 大淀中へ入学すると、〇〇が出来るようになった
- ③ 教職員のチームワーク(結束力、チーム力)
- ④ 魅力的で、愛着が持て、敬愛できる学校

はじめに

- 教職員メンバー1人1人が心身共に健康に過ごすこと
- 楽しくやりがいを感じる職場であることを何より一番大切にしたい！

1 校是

「自立」

*校是とは、学校の教育上の基本精神を表すものである。

2 学校教育目標

「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

*自律と自立の違い

自律とは、他からの支配や制約などを受けず、自分の行動を自分の立てた規律に従って正しく規制することである。学習に例えるなら、先生の助けを受けずに自分自身で立てた学習スケジュールに従って行動することである。

自立とは、他への従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けずに、存在することである。学習に例えるなら、先生の力を借りずに一人で勉強することである。

つまり、自律の先に自立がある。

3 大淀中学校の生徒に育みたい資質・能力

表現力 (聞きたくなるような発表・筋道を立てて)

質問力 (発表者の意図を理解・自分の考えを取り入れた質問)

情報活用能力 (活用・適切な取扱い)

4 目指す姿

教職員が、教育公務員として自覚と責任のもと、自己研鑽とお互いに厳しく指摘し合い、個々の指導力を向上させるとともに、教職員の集団力を発揮し、大淀中学校の教育課題（低学力・学びに向か

う意欲の向上)の解決を図る。そのために、生徒・教職員・保護者それぞれ相互の信頼関係を構築し、一致団結して、きめ細やかな心の通った関わりのなかで生徒一人一人を徹底的に大切にする。

そして、人間尊重の精神を培い、創造的で豊かな人間性を養い、学力の向上を図ると共に、魅力ある、誇りをもてる校風を、「愛」と「絆」で結ばれ、魅力的で、愛着が持て敬愛できる学校を創る。目指す学校実現のために、教育目標の理念を常に中心に据え、我々の学校、教職員、生徒が具体的にどうあるべきか、どう育てたいのか、を言い表したのが、以下に掲げる「目指す〇〇の姿」である。

① 目指す学校の姿

“ 愛にあふれた学校 ”

→生徒・教職員が共に

- 目標に向かい、生き生きと、一生懸命活動している学校
- 「学校が好き」「学校が大切」と言える学校
- 心が通じ合え、信じ合っている学校
- どこよりも「愛」と「絆」で結ばれ、魅力的で、愛着が持て、敬愛できる学校

② 目指す教職員の姿

「理念・情熱・使命感」

- 与えられた責任を、個々に持つ能力を最大限に発揮し、果たす教職員集団
- チームとして補い合い、常に上を目指して高め合う教職員集団
- 行動ありきの教職員集団
- 自らの使命・存在意義を示すために、常に自らの課題を明確にし、日々研鑽に励む教職員集団
- 生徒一人ひとりを大切にし、長所を見つけ、伸ばせる教職員集団
- 目標達成のために、自ら提案し、責任を持って実行する教職員集団

- 教職員同士の相互指摘、相互アドバイスをしあえる集団（批判と非難は違う）
- 教職員と生徒の一体感を感じあえる集団

③ 目指す生徒の姿（卒業時の姿）

■ 真理を探究する生徒（自主・自律）

→育む資質能力を明確化した学力向上

■ 他者との絆に感謝する生徒（共生）

→思いやる心・やさしい心・あたたかい心を基盤にした人権環境の構築

■ TPOを正しく判断する生徒（自主・自律・共生）

→礼儀・節度・規範意識の高揚と社会常識の習得

→ルールの意味を考える（学校は、みんなが楽しめる場所、色々な人がいる場所）

5 具体的な実践

「担当分掌の役割を自覚して徹底する」

① 人権学習について

- | | |
|--------------------|----------|
| ■ 1年生 前期：LGBTQ（講演） | 後期：障害者差別 |
| ■ 2年生 前期：いじめ | 後期：外国人差別 |
| ■ 3年生 前期：いじめ | 後期：同和問題 |

② アセスについて

- 6月、11月、2月の3回実施し、分析結果を指導に活かす。

③ 授業について

- 教科会でお互いに協力して授業方法の困りを共有し改善策を考える。（授業公開週間で共有）
- 「学ぶ価値を見いだす」→「学習方略」→「メタ認知」の授業展開を行う。
- “単元目標” “本時の目当て” を明確に示す → 必ず “ふりかえり” の時間をとる
- 単元計画について教科会を通して綿密に考える。
- パフォーマンス課題における京都大学との連携を継続する。
- 役割分担表を活用して協働的な学びを推し進める。
- 身につける資質能力を授業開始時に提示する。
- 章末テストを定期テストと混同せずに能率的な問作を行う。
- 学習確認プログラムの結果を分析して授業改善に適宜行う。

④ 研究発表会について

- パフォーマンス課題を用いた授業発表を行う。
- 全クラス実施。(生徒とともに大淀を全市に発信する場へ)
- 実践発表は研究主任が行う。生徒の発表を入れる。

⑤ ピアサポートについて

- グループで活動できる内容について年間を通して模索しながら実施する。
- 体育大会は、令和7年度をベースに縦割り中心で実施する。
- 合唱コンクールは、令和7年度ベースにホールで実施する。

⑥ TPOについて

- 全校集会の集団指揮は生徒が行う。
- 全校集会の整列時に、生徒の指示のもと生活保健委員会の生徒が服装点検を行う
- 各種委員会の際、委員会に属さない部活動部員にて30分の清掃活動を行う
- 校則の見直し会議は、生徒会本部の生徒・生徒指導委員会の教員にて行う

⑦ チーム担任制について

- 1年生・2年生で実施する。

⑧ 働き方改革について

- 自分の担当分掌の仕事に責任を持ち、次年度に活かせるように保存する。
- 常時19時30分までに退勤することを義務とするが、週に1日の例外を認める。
- 会議日の水曜日は、18時30分までに退勤する。(NOW DAY)
- 留守番電話は、下校後1時間後の18時に設定。
- バースディ休暇(年1回)を設定する。
- 令和8年度の管外視察は検討中。

⑨ プチ研究部会

- 時間割の組み込まれた時間内で月に1回程度、各学年の学習の進捗状況の情報交換をする

⑩ 大淀探究道場

- 1年生 淀探究 2年生 社会探究 の在り方について検討する
- 2学期より 縦割り ドリームゼミを実施
- 2学期より水曜日の教職員全体集合で今週のドリゼミの方向性を係から伝達する

⑪ その他

- 保健室の使用は1時間を限度とし、それ以上になる場合は早退させる。
- 性教育はコロカラ B00K を活用して指導案を作成し次年度につなげる。

- 「世界に1つだけの花」の継続
- CSタイムは、教育相談で実施に変更する。方法は検討中。
- 水曜日 5時間目 淀タイムの設定（章末テスト・学年裁量とする）
職員会議・学年会の日はカット